

# suiteDXT

## 使用説明書

NeoSoft, LLC

# NEOSOFT

NS-03-043-0004-JA 改訂版 3  
Copyright 2024 NeoSoft, LLC  
無断複写・複製・転載禁止

# 改訂履歴

改訂版	改訂日	変更内容	安全関連の更新 (はい/いいえ)
1	2022年7月15日	5.1.0 製品リリース向けに更新。ブラジル・ポルトガル語が追加されました。 この IFU は、前の言語/改訂/部品番号と置き換わります: suiteDXT IFU - NS-03-039-0008, EN - Rev. 7 suiteDXT IFU - NS-03-039-0009, FR - Rev. 6 suiteDXT IFU - NS-03-039-0010, DE - Rev. 6 suiteDXT IFU - NS-03-039-0011, IT - Rev. 6 suiteDXT IFU - NS-03-039-0012, EL - Rev. 6 suiteDXT IFU - NS-03-040-0009, LT - Rev. 5 suiteDXT IFU - NS-03-040-0010, ES - Rev. 5 suiteDXT IFU - NS-03-040-0011, SV - Rev. 5 suiteDXT IFU - NS-03-040-0012, TR - Rev. 5 suiteDXT IFU - NS-03-040-0013, RO - Rev. 5 suiteDXT IFU - NS-03-040-0014, NL - Rev. 5 suiteDXT IFU - NS-03-040-0029, PT-PT - Rev. 4 suiteDXT IFU - NS-03-041-0008, ZH-CN - Rev. 2 suiteDXT IFU - NS-03-041-0010, HU - Rev. 3 suiteDXT IFU - NS-03-042-0008, JA - Rev. 1 suiteDXT IFU - NS-03-042-0009, VI - Rev. 1	いいえ
2	2023年4月21日	5.1.1 製品リリース向けに更新。エストニアが追加されました。規制に関する情報は、 規制に関する文書の附録に移されました。	いいえ
3	2024年12月20日	5.1.2 製品リリース向けに更新。	いいえ



製造元

NeoSoft, LLC  
N27 W23910A Paul Road  
Pewaukee, WI 53072 USA

電話: 262-522-6120  
Website: [www.neosoftllc.com](http://www.neosoftllc.com)

営業: [sales@neosoftmedical.com](mailto:sales@neosoftmedical.com)  
サービス: [service@neosoftmedical.com](mailto:service@neosoftmedical.com)

アプリケーション起動後にコンプライアンス情報（正規代理店、輸入者、登録情報）を表示するには、メイン画面で [Help（ヘルプ）] または [About（概要）] をクリックします。[Regulatory Information（規制に関する情報）] オプションを選択します。文書はpdfビューアーで表示されます。

# 目次

安全性について	1
はじめに	1
使用目的	1
適応	1
サポートされている DICOM 画像形式	1
用語	2
装置・機器の危害要因	2
サイバーセキュリティ	3
はじめに	5
メイン画面の機能	5
スタディペインの右マウスクリックメニュー	6
シリーズペインの右マウスクリックメニュー	7
問合せ/検索ウィンドウ	8
問合せ/結果ペインの右マウスクリックメニュー	9
シリーズペインの右マウスクリックメニュー	9
suiteDXT の使用	10
アプリケーションの起動	10
リモートホストからスタディまたはシリーズを検索	11
以前のスタディの自動検索	13
リモートホストにスタディを送信	14
スタディペインのインジケータ	15
リモートホストにシリーズを送信	16
NeoSoft DICOM ファイルの送信	16
Auto Send (自動送信)	16
スタディのインポート	17
スタディのエクスポート	18
検索の実行	18
フォルダの作成	19
スタディの匿名化	20
削除保護	21
スタディの削除	21
シリーズの削除	21
セカンダリキャプチャシリーズの削除	21
自動削除	22
suiteDXT の概要	23
スタディの前処理	24
前処理の構成	24
前処理の使用	25
スタディペインのインジケータ	26
Virtual Fellow®	27
Virtual Fellow® のオン/オフ	27
画像プレビューウィンドウ	28

データエクスポート	29
サービスとサポート	31
DICOM ネットワーク機能不全	31
スタディ起動エラー	32
ディスクの空き容量が低下した場合の動作	32
ライセンスエラー	33
お問い合わせ	33

# 安全性について

## はじめに

効率的かつ安全にご使用いただくために、本ソフトウェアをご使用になる前に必ずこの安全性に関するセクションおよび関連するトピックをすべて読んでください。この製品をご使用になる前に、必ず本書の内容をよく読んで理解してください。また、手順と安全に関する注意事項は定期的に確認してください。

このソフトウェアは、トレーニングを受け、資格を持つ担当者だけが操作することを前提としています。

suiteDXT ソフトウェアの予想耐用期間は、最初のリリース日から7年です。

NeoSoft では、自社製品の定期メンテナンスサービスを提供しておりません。ご質問やご不明な点がございましたら、[service@neosoftmedical.com](mailto:service@neosoftmedical.com) までお問い合わせください。

## 使用目的

suiteDXT は、ユーザーが DICOM ネットワーク通信の管理、サポートされている DICOM 画像の格納、サポートされている DICOM 画像のローカルファイルシステムからのインポート、スタディの匿名化、関連のある画像アプリケーションの起動を実行できるよう意図されています。このソフトウェアは、一時的なストレージ場所として設計されています。

## 適応

suiteDXT は、ユーザーが DICOM 画像をインポート、エクスポート、匿名化して、関連のある画像アプリケーションを起動できるよう意図されています。この製品には、診断用の医療機能または目的はありません。

## サポートされている DICOM 画像形式

suiteDXT は、MR および拡張 MR の DICOM 形式をサポートしています。




**注：** suiteDXT は JPEG ロスレス圧縮をサポートしますが、この形式のサブセットはサポートされていません。

サポートされている形式の詳細については、suiteDXT DICOM 適合声明書マニュアルを参照してください。

# 用語

本取扱説明書では、危険、警告、注意の用語で危険を指摘し、危害の程度やレベルを示しています。危険は、人が負傷する可能性をもたらすものと定義されます。次の表に記載された用語の説明をよく理解しておいてください。

表 1: 安全性に関する用語

マーク	定義
 危険:	「危険」は、説明どおりに操作を行わなかった場合に、人体への重大な傷害、死亡、または建物や機器の破損を引き起こす特定の危険要因が確認されている状況やアクションを表すために使用されます。
 警告:	「警告」は、説明どおりに操作を行わなかった場合に、人体への重大な傷害、死亡、または建物や機器の破損を引き起こす可能性のある特定の危険要因が確認されている状況やアクションを表すために使用されます。
 注意:	「注意」は、説明どおりに操作を行わなかった場合に、人体への軽度の傷害、または建物や機器などの軽度の破損を引き起こすことがある危険要因が潜在する状況やアクションを表すために使用されます。

## 装置・機器の危害要因



注意: 損傷したり、何らかの欠陥がある機器を使用すると、診断の遅延により患者がリスクにさらされる可能性があります。装置が適切に運転できる状態であることを必ず確認してください。



注意: アプリケーションは、1 つまたは複数のハードディスクを有する装置上で動作します。ハードディスクには患者の健康に関する情報が保存されている場合があります。国によっては、個人情報の処理および配布に関する法律によって、そのような装置は規制の対象になる場合があります。個人データの開示は、該当する監督官庁によって、法的措置が取られる場合があります。患者ファイルへのアクセスは必ず保護してください。ユーザーには、患者情報を規制する法律を理解しておく責任があります。

# サイバーセキュリティ

NeoSoftは、ソフトウェアの設計と実装において、以下のサイバーセキュリティ上の予防措置を講じています。

- NeoSoftソフトウェアの特定の機能(ユーザー権限、データベースの再構築など)の管理は、訓練を受けた管理者ユーザーのみが行うことができます。
- NeoSoftソフトウェアは、NISTデータベースに収録されている既知の脆弱性を定期的に分析し、必要に応じてパッチを適用します。
- NeoSoftソフトウェアは、DICOM規格を使用して患者データを保存し、ユーザーが設定したポートを介したネットワーク経由で患者データを送受信します。
- インストールする前のNeoSoftソフトウェアの完全性をmd5チェックサムで検証し、提供されたソフトウェアに破損がないことを確認します。
- NeoSoftソフトウェアは、暗号化を有効にしたハードウェアでの使用を検証しています。
- NeoSoftは、ISO 14971規格に準拠した設計により、サイバーセキュリティのリスクを軽減しています。
- NeoSoftの従業員は、サイバーセキュリティおよび健康情報の保護に関するトレーニングを受けています。
- NeoSoftは、トラブルシューティングのためにお客様から特別にアクセスを許可された場合を除き、保護された健康情報を受け取ることも、管理することはありません。
- NeoSoftソフトウェアは、ペネトレーションテストを受けています。
- 自動ログオフ (ALOF) - suiteHEARTおよびsuiteDXTは、所定の不使用時間が経過すると閉じるように設定できます。
- 監査管理 (AUDT) - suiteHEARTとsuiteDXTは、ソフトウェアイベントとユーザー情報を含むタイムスタンプ付きのログを生成します。
- 権限付与 (AUTH) - suiteDXTでは、管理者は他のユーザーのアクセス制御を表示し設定できます。アクセスの設定方法に応じて、ユーザーは、suiteDXTとsuiteHEARTの特定のスタディのみを閲覧できます。例えば、ユーザーAは場所Aのスタディ情報のみ、ユーザーBは場所Aと場所Bのスタディ情報に、それぞれアクセスできるように設定できます。
- ノード認証 (NAUT) - suiteDXTは、AEタイトル、IPアドレス、DICOMポートを設定することにより、他のDICOM機器と通信するように設定できます。デフォルト設定のsuiteHEARTはネットワークを利用しませんが、設定を変更することによりAEタイトル、IPアドレス、ポートで他のシステムを識別し、データを送信できます。両製品とも、ネットワーク経由でスタディデータを送受信する代わりに、ファイルシステムからローカルのスタディデータをインポートすることで、ネットワークに接続せずに使用できます。
- 個人認証 (PAUT) - suiteHEARTとsuiteDXTは、ユーザー認証、ユーザーパスワード制御を有効にし、ログインしたユーザーごとに利用可能な患者データを設定できます。ユーザー情報を記録します。
- 接続機能 (CONN) - suiteDXTは、データ転送用に設定された他のDICOMパートナーに接続できます。suiteHEARTは、設定を変更することで、AEタイトル、IPアドレス、ポートで識別した他システムにデータを送信できます。
- 物理ロック (PLOK) - 該当なし。NeoSoftは、保護のために、ネットワークセキュリティ製品を使用することを推奨します。
- システムとアプリケーションの強化 (SAHD) - 該当なし。NeoSoftは、保護のために、ネットワークセキュリティ製品を使用することを推奨します。
- 健康データの匿名化 (DIDT) - suiteDXTには、患者のスタディを特定できないようにする「匿名化」機能があります。
- 健康データの完全性と信頼性 (IGAU) - suiteDXTでは、スタディ情報のインポート/転送時に表示されるステータスメッセージでインポートや転送の成功やエラーの発生を確認できます。suiteHEARTでは、入力データに欠落や破損がある場合、ポップアップメッセージでユーザーに警告します。

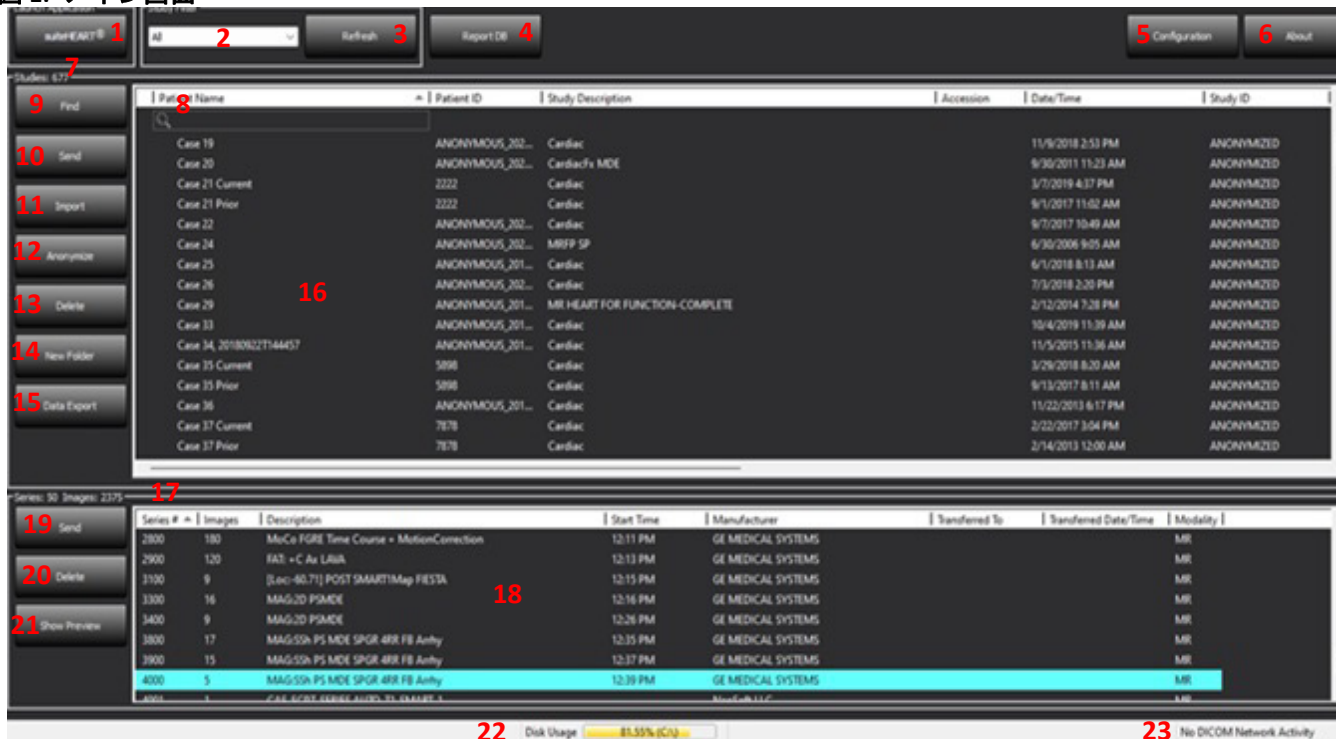
- データバックアップとディザスタリカバリ (DTBK) - suiteHEARTで作成したデータは、長期保存/バックアップのためにPACSに送信することを推奨します。suiteDXTは、ローカルソフトウェアが破損した場合にデータベースを再構築するツールを備えています。
- 健康データ保管の機密性 (STCF) - 有資格者が使用することを意図しているsuiteHEARTとsuiteDXTは、ユーザーの裁量により、ユーザー名とパスワードで保護できます。
- 転送の機密性 (TXCF) - データの転送はすべてDICOM形式で行われます。
- 転送の完全性 (TXIG) - データの転送はすべてDICOM形式で行われます。
- サイバーセキュリティ製品のアップグレード (CSUP) - インストールやアップグレードは、お客様の裁量で許可され適用される新しいソフトウェアリリースの形で行われます。
- ソフトウェア部品表 (SBoM) - suiteHEARTの「About (概要)」画面には、サードパーティ製ソフトウェアの一覧が表示されます。suiteDXT のサードパーティ製ソフトウェアの情報は、suiteDXT のインストールディレクトリの「3pInfo」フォルダにあります。
- デバイスのライフサイクルにおけるサードパーティ製コンポーネントのロードマップ (RDMP) - NeoSoftはサードパーティ製ソフトウェアを定期的に評価し、必要に応じてsuiteHEARTおよび/またはsuiteDXTを更新する場合があります。
- セキュリティガイダンス (SGUD) - NeoSoftは、ウイルス対策ソフトウェアの使用を推奨します。
- ネットワークセキュリティ機能 (CNFS) - ユーザーのニーズに基づいてネットワークセキュリティ機能を構成する機能 - suiteHEARTとsuiteDXTはどちらもネットワークに接続せずに使用できます。ただし、ネットワーク転送を行うように設定した場合は、AEタイトル、IPアドレス、ポートの情報のみを必要とします。これ以上のセキュリティは必要なく、また、推奨しません。
- 緊急アクセス (EMRG) - 該当なし。suiteHEARTとsuiteDXTは、緊急事態発生時に使用するものではありません。
- リモートサービス (RMOT) - お客様が指定したリモートアクセス方法 (リモートデスクトップ等) を使用して遠隔でサービスを実行できます。suiteHEARTとsuiteDXTは、リモートアクセスの手段そのものは備えていません。
- マルウェア検知/保護 (MLDP) - 該当なし。suiteHEARTとsuiteDXTは、マルウェア検出機能またはマルウェアからの保護機能を備えていません。NeoSoftは、保護のために、ネットワークセキュリティ製品を使用することを推奨します。



# はじめに

## メイン画面の機能

図 1. メイン画面

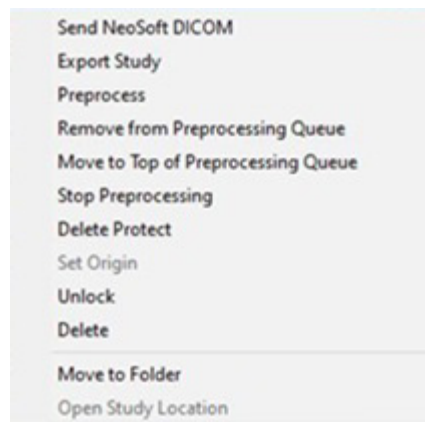


1. suiteHEART - suiteHEART® ソフトウェアを起動します。
2. Study Filter (スタディフィルタ) - スタディリストでスタディを表示する日付範囲を定義します。
3. Refresh (更新) - ユーザーの選択した基準に基づいてビューを更新します。
4. Report DB (レポート DB) - 以前に承認されたレポートの内容を検索します (suiteHEART 使用説明書を参照してください)。
5. Configuration (構成) - 構成ウィンドウを開きます。
6. About (説明) - suiteHEARTのソフトウェアバージョンおよび、使用説明、DICOM 適合宣言、規制に関する情報、サポート用アーカイブログファイルへのリンクを表示します。
7. Studies Headline (スタディ見出し) - ローカルホストに格納されているスタディ数を表示します。
8. Search Field (検索フィールド) - 並べ替えあり、または並べ替えなしで列を自動的に検索します。
9. Find (検索) - [Query/Retrieve (問合せ/検索)] ウィンドウが開きます。
10. Send (送信) - ローカルスタディをリモートホストにプッシュします。(リモートホストの設定については、インストール マニュアルを参照してください。)
11. Import (インポート) - スタディ情報をファイルシステム、CD、DVD、またはUSB メディアからインポートできます。
12. Anonymize (匿名化) - 患者固有のデータを削除して新しいスタディを作成します。

13. **Delete (削除)** - suiteDXT スタディリストからスタディを削除し、ローカルホストから DICOM データを削除します。
14. **New Folder (新しいフォルダ)** - スタディを整理できるようにフォルダを作成します。
15. **Data Export (データのエクスポート)** - エクセルシートとして、結果のバッチのエクスポート。
16. **Study (スタディ) ペイン** - ローカルホストに格納されているスタディの情報が表示されます。
  - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。
17. **Series Headline (シリーズ見出し)** - 選択したスタディのシリーズ数と画像数を表示します。
18. **Series (シリーズ) ペイン** - 選択したスタディのシリーズ情報を表示します。
  - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。
19. **Send (送信)** - ローカルシリーズをリモートホストにプッシュします。(リモートホストの設定については、インストール マニュアルを参照してください。)
20. **Delete (削除)** - 選択したスタディからシリーズを削除し、DICOM データを削除します。
21. **Show/Hide Preview (プレビューの表示/非表示)** - suiteHEART Virtual Fellow®、CAS シネ、CAS レポートシリーズのプレビューを表示します。
22. **Disk Usage Indicator (ディスク使用率インジケータ)** - 画像データの合計ローカルディスク使用領域をパーセンテージで示します。
23. **Network Status (ネットワークのステータス)** - suiteDXT が現在、DICOM データをネットワーク上で転送しているかどうかを示します。

## スタディペインの右マウスクリックメニュー

図 2. 右マウスクリックメニュー



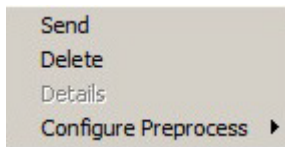
- **Send NeoSoft DICOM (NeoSoft DICOM を送信)** - ソフトウェアによって作成されたファイルのみを、ローカルホストからリモートホストにプッシュします。
- **Export Study (スタディのエクスポート)** - 選択したスタディグループのスタディデータを圧縮 .zip ファイルに保存します。

- Preprocess (前処理) - 選択を行い、[Start Preprocessing (前処理の開始)] をクリックします。



- Remove from Preprocessing Queue (前処理キューから削除)
- Move to top of Preprocessing Queue (前処理キューの先頭に移動)
- Stop Preprocessing (前処理の停止)
- Delete Protect (プロテクトの削除) - スタディのプロテクト削除を設定します (はい/いいえ)。
- Set Origin (起点の設定) - ネットワーク管理者がアクセス管理向けに AE タイトルを設定するために使用します。
- Unlock (ロック解除) - ロックをリセットし、不測のシャットダウン後にロックされたスタディを開きます。
- Delete (削除) - suiteDXT スタディリストからスタディを削除し、ローカルホストから DICOM データを削除します。
- Move to Folder (フォルダに移動) - 作成したフォルダにスタディを動かします。
- Open Study Location (スタディの場所を開く) - ローカルファイルシステムで DICOM データの場所を示します。

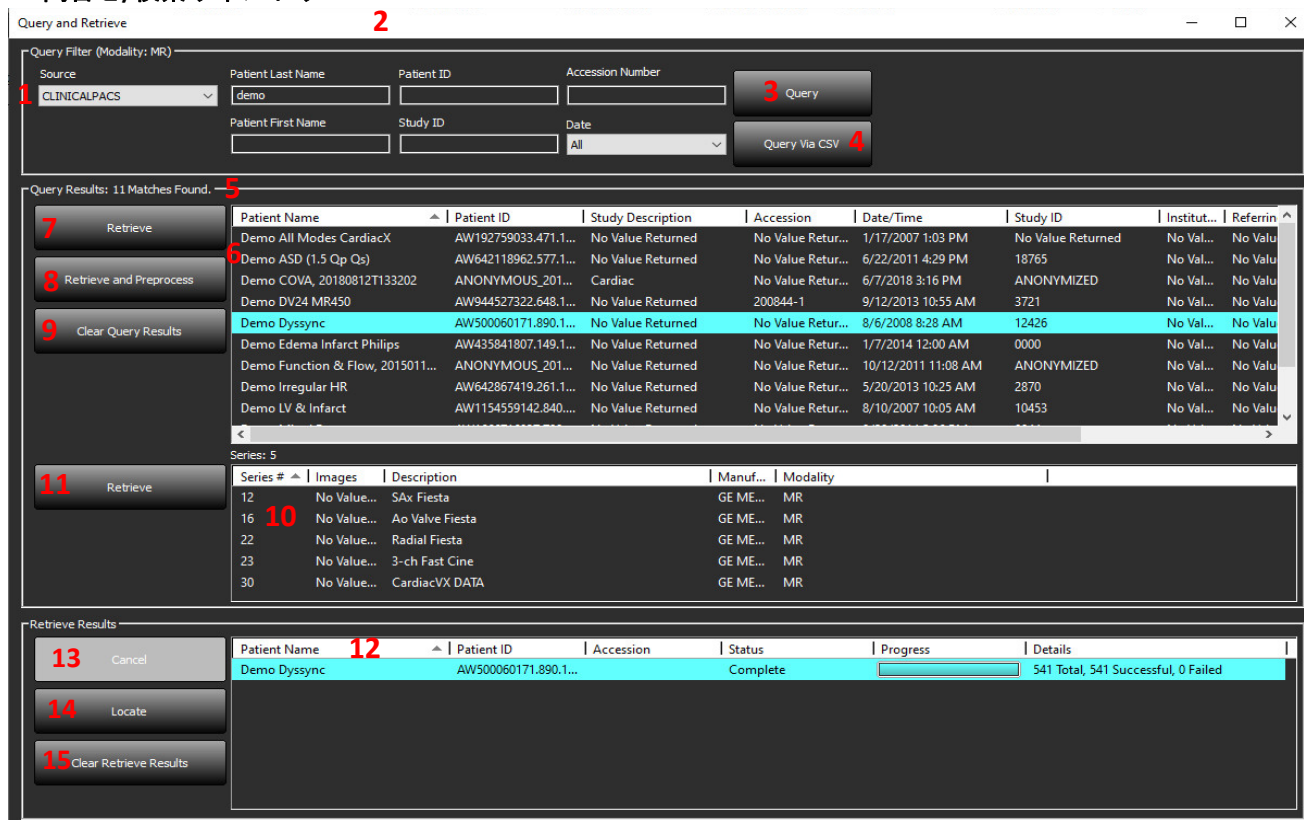
## シリーズペインの右マウスクリックメニュー



- Send (送信) - ローカルシリーズをリモートホストにプッシュします。
- Delete (削除) - 選択したスタディからシリーズを削除し、DICOM データを削除します。
- Details (詳細) - シリーズの詳細ウィンドウが開きます。
- Configure Preprocess (前処理の構成) - アプリケーションタイプのシリーズ名を自動入力します。

# 問合せ/検索ウィンドウ

図 3. 問合せ/検索ウィンドウ



1. **Query Source (問合せソース) プルダウンメニュー** - 問合せ/検索で使用できる構成済みのリモートデバイスを表示します。
2. **Query Filter (問合せフィルタ)** - 患者の名、姓、患者 ID、スタディ ID、登録番号、日付で具体的なスタディを検索するために使用できます。\* (アスタリスク) は任意のフィールドでワイルドカードとして使用できます (日付以外)。
3. **Query (問合せ)** - リモートデバイスの問合せを実行します。あらゆるフィールドを空白のままにすると、問合せであらゆる結果が返されます。
4. **Query Via CSV (CSV を介した問合せ)** - 事前定義された CSV ファイルを使用してリモートデバイスの問合せを処理します。
5. **Query Results (問合せ結果)** - 問合せ基準に一致するスタディ数を示します。
6. **Query Results (問合せ結果) ペイン** - 問合せのあったリモートデバイスのスタディ情報を表示します。
  - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。
7. **Retrieve (検索)** - リモートデバイスから選択したスタディの検索を実行します。
8. **Retrieve and Preprocess (検索と前処理)** - リモートデバイスから選択したスタディの検索と前処理を実行します。
9. **Clear Query Results (問合せ結果のクリア)** - スタディペインで問合せの結果をクリアします。
10. **Series (シリーズ) ペイン** - スタディペインでハイライトされたスタディのシリーズ情報を表示します。
  - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。

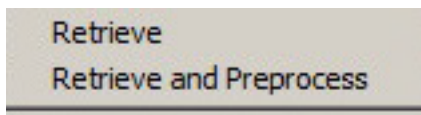
11. **Retrieve (検索)** - リモートデバイスから選択したシリーズの検索を行います。
12. **Transfer Status (転送ステータス) ペイン** - 現在の検索と完了した検索を表示します。
  - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。
13. **Cancel (キャンセル)** - 転送を停止します。
14. **Locate (見つける)** - メインUIスタディペインの検索されたスタディを強調表示します。
15. **Clear Retrieve Results (検索結果をクリア)** - 転送が完了したスタディの転送ペインで転送アクティビティをクリアします。



注意: 転送した画像はローカルのまま残り、suiteDXT メイン画面で表示されます。ただし、スタディの画像がすべて転送されていない可能性があります。

## 問合せ/結果ペインの右マウスクリックメニュー

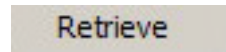
図 4. 右マウスクリックメニュー



- **Retrieve (検索)** - リモートホストからスタディを検索します。
- **Retrieve and Preprocess (検索と前処理)** - リモートホストから選択したスタディの検索と前処理を実行します。

## シリーズペインの右マウスクリックメニュー

図 5. 右マウスクリックメニュー



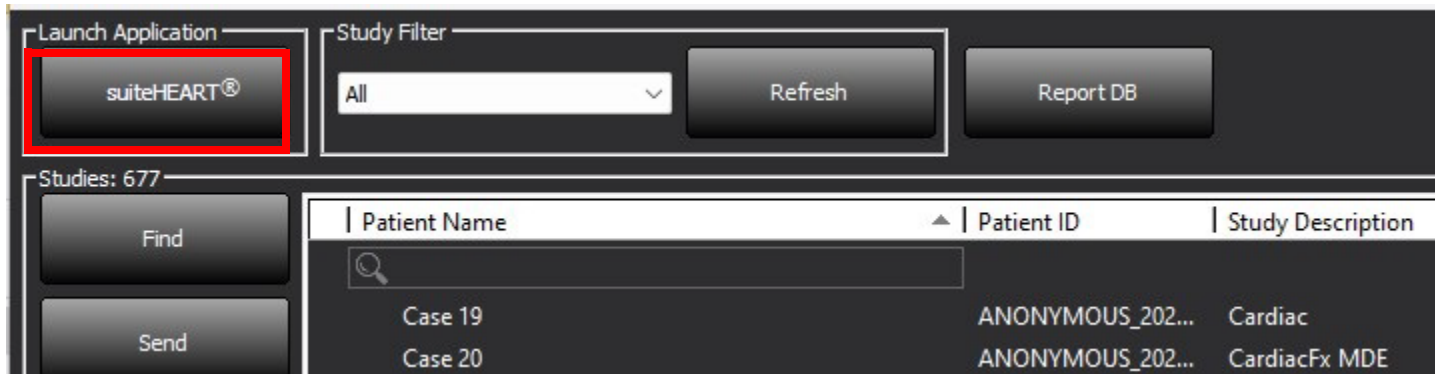
- **Retrieve (検索)** - リモートホストからシリーズの検索を実行します。

# suiteDXT の使用

## アプリケーションの起動

1. メイン画面に移動します。
2. スタディリストからスタディを選択して以下のいずれかを行います。
  - suiteHEART をクリックします。
  - スタディをダブルクリックします。

図 1. アプリケーションの起動



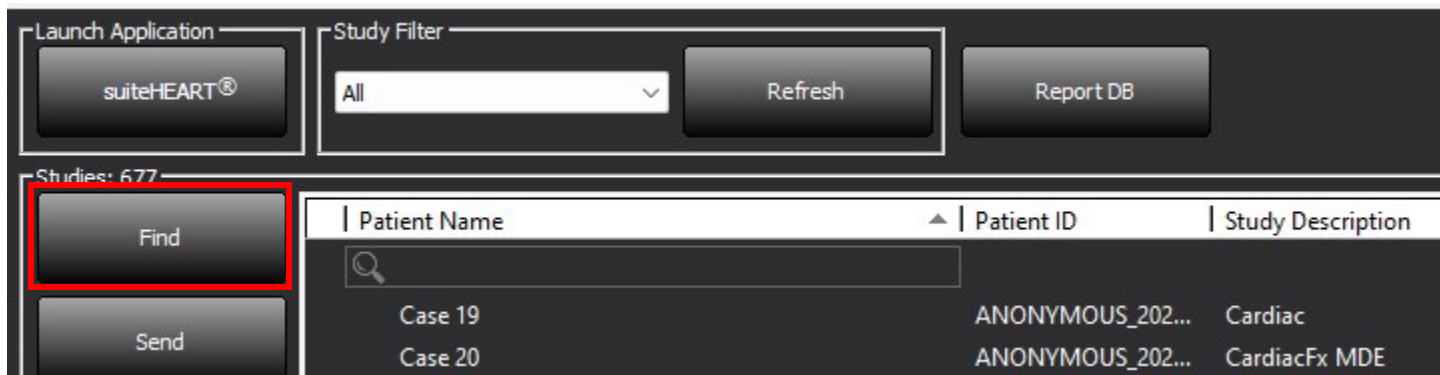
注：スタディグループを選択した場合は、suiteHEART をクリックします。

## リモートホストからスタディまたはシリーズを検索

リモートホストはすでにアクセス可能な状態に構成されていなくてはなりません。リモートホストの構成方法については、インストールマニュアルを参照してください。

1. メイン画面で [Find (検索)] を選択します。

図 2. メイン画面の [検索]



2. [Query/Retrieve (問合せ/検索)] ウィンドウの [Query Filter (問合せフィルタ)] エリアでスタディ情報基準を入力します。

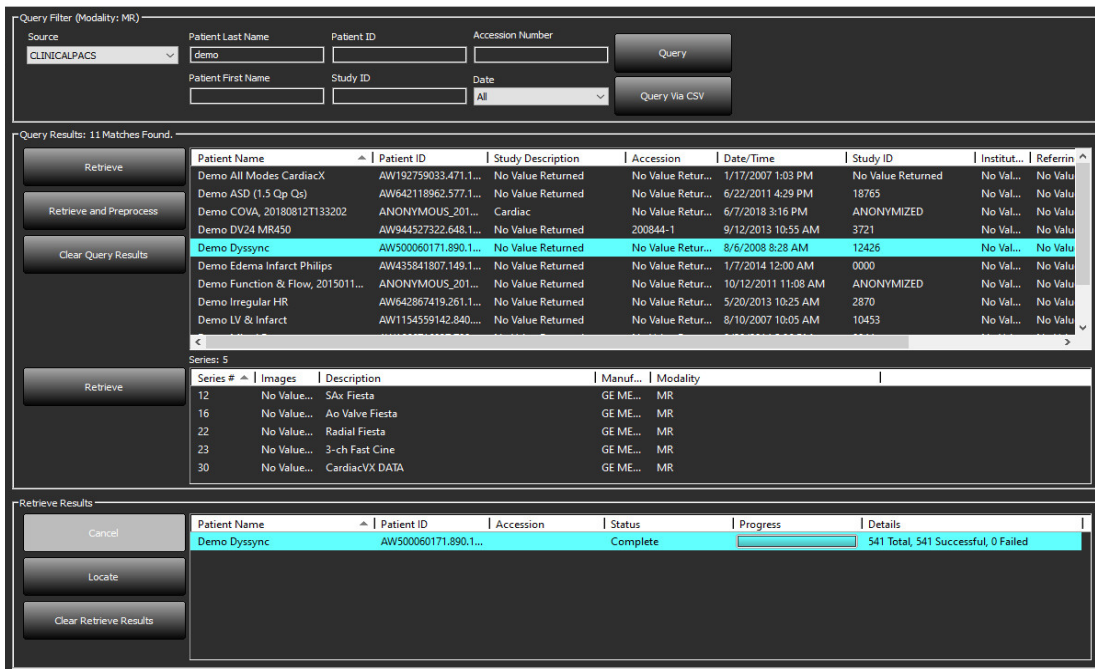
以下のようなフィルタオプションがあります。

- Patient Last Name (患者の姓)
- Patient First Name (患者の名)
- Patient ID (患者 ID)
- Study ID (スタディ ID)
- Accession Number (登録番号)
- Date Range (日付範囲)

注：フィルタ保存の選択は、NeoSoft から要請された場合にのみ利用できます。



図 3. 問合せ/検索ウィンドウ



3. [Query Source (問合せソース)] プルダウンメニューで、リモートホストを選択します。
4. 問合せまたはCSV を介した問合せを選択します。
5. CSV を介した問合せを行う場合、CSV ファイルを選択します。

入力した基準または CSV ファイルの基準に一致するスタディが、スタディリストに読み込まれます。  
 スタディをクリックすると、シリーズ情報リストにデータが読み込まれます。

注：CSV を介した問合せには、CSV ファイルを作成する必要があります。CSV ファイルを作成するためのテンプレートは、C:\ProgramData\NeoSoft, LLC\suiteDXT\Import\Import\_Template.csv で入手できます。

CSV ファイルには、以下のフィールドが必要です：

Patient Last Name (患者の姓)	Patient First Name (患者の名)	Patient ID (患者 ID)	Study ID (スタディ ID)	スタディ日 年月日	Accession Number (登録番号)
-----------------------------	------------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------	----------------------------

6. スタディを1つまたはグループで選択します。
7. スタディリストの下で [Retrieve (検索)] を選択するか、ポップアップメニューを右クリックして [Retrieve (検索)] を選択します。
8. [Retrieve and Preprocess (検索して前処理)] を選択して前処理を行います。
9. シリーズで検索するには、シリーズを選択してからシリーズリストの下で [Retrieve (検索)] をクリックします。検索の進捗状況は、ウィンドウ最下部の [Retrieve Results (検索結果)] セクションに表示されます。メイン画面の最下部で [No DICOM Network Activity (DICOM ネットワークアクティビティなし)] のステータスが [DICOM Network Active (DICOM ネットワーク有効)] に変わります。

注：スタディ全体が転送されないイベントの進捗状況インジケータは赤くなります。



## 以前のスタディの自動検索

リモートホストはすでにアクセス可能な状態に構成されていなくてはなりません。リモートホストの構成方法については、インストールマニュアルを参照してください。自動検索を構成することで、以前のスタディを PACS などのリモートホストから DXT データベースに自動検索することが可能になります。

### 以前のスタディを検索する場所の構成方法：

注：リモート DICOM ホストは 1 つに限り構成が可能です。

1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。

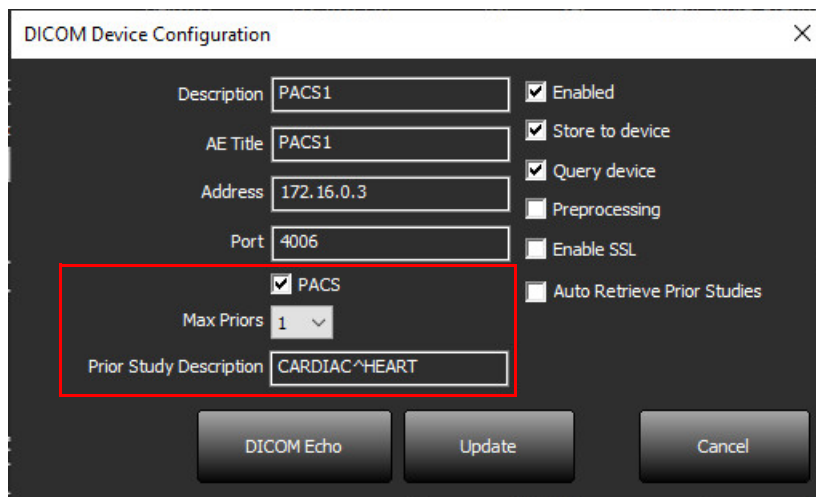
2. [DICOM Destination (DICOM 宛先)] セクションで、PACS システムを強調表示し、[Edit (編集)] をクリックします。

3. PACS を確認します。

4. [Max Priors (以前の最大)] のプルダウンメニューで、検索したい以前のスタディの数を選択します。[Prior Study Description (以前のスタディの説明)] のテキストフィールドに用語を入力します。これらは、[Study Description (スタディの説明)] フィールドで、検索するスタディを識別するために使用される用語です。デフォルトの用語は CARDIAC^HEART です。

5. [Update (更新)] をクリックします。

6. [Apply and Close (適用して閉じる)] をクリックします。



### スタディを検索する前に、生成するスタディを構成します：

1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。

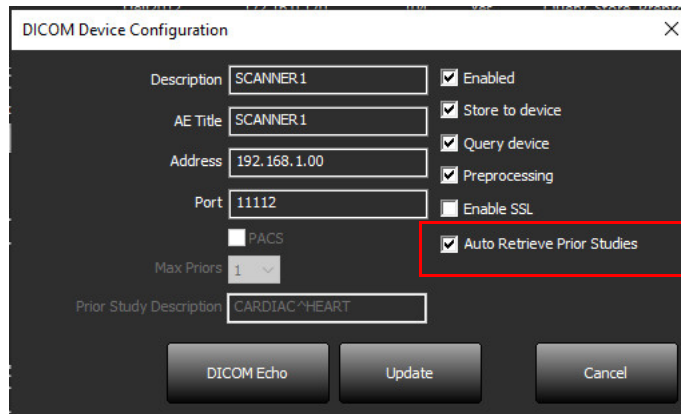
2. [DICOM Destination (DICOM 宛先)] セクションで、宛先を強調表示して [Edit (編集)] をクリックし、それらの宛先から到着するスタディに基づき、スタディの検索前に自動生成するリモートホストを選択します。

3. [Auto Retrieve Prior Studies (以前のスタディを自動検索)] にチェックを入れます。

4. [Update (更新)] をクリックします。

5. [Apply and Close (適用して閉じる)] をクリックします。

注：プッシュ前処理が、その [DICOM Destination (DICOM 宛先)] のために有効化されると、suiteHEART データがない場合にスタディが前処理されません。



## リモートホストにスタディを送信

リモートホストはすでにアクセス可能な状態に構成されていなくてはなりません。リモートホストの構成方法については、インストールマニュアルを参照してください。

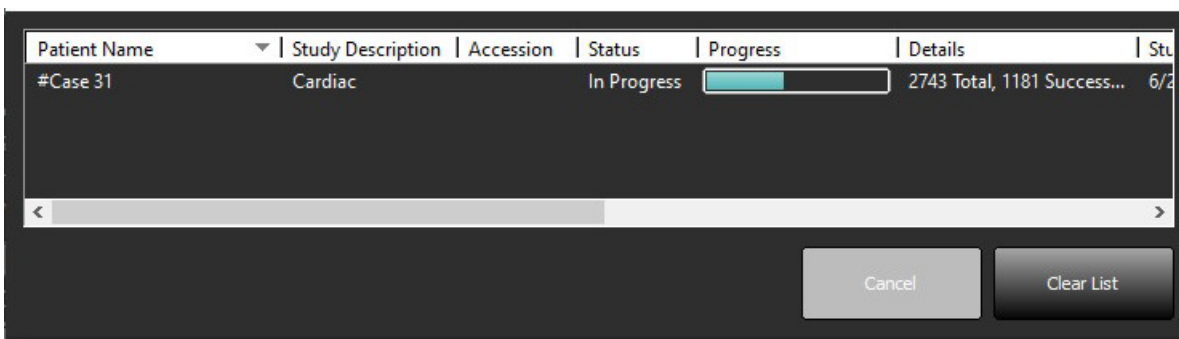
注：suiteDXT は JPEG ロスレス圧縮をサポートしますが、この形式のサブセットはサポートされていません。

1. 送信するには、スタディをハイライトします。
2. [Send (送信)] を選択するか、右クリックしてポップアップメニューから [Send Study (スタディの送信)] を選びます。
3. 送信先を選択します。
4. ポップアップウィンドウで [Send (送信)] を選択します。

[DICOM Send (DICOM 送信)] ウィンドウが表示され、転送の進捗状況を示します。このウィンドウは右上隅の X を使用すると閉じることができます。その間も転送は背景で実行されます。

[DICOM Send (DICOM 送信)] ウィンドウを閉じた後に進捗状況をチェックするには、[Send (送信)] を選択してから [Status (ステータス)] を選択します。

図 4. DICOM 送信ウィンドウ



5. 転送に成功したスタディは、メインスタディリストの [Transferred To (転送済み)] 列にリモートホストが表示されます。

図 5. 転送済み

Patient Name	Patient ID	Date/Time	Transferred To	Study ID	Delete Protected	Accession	Origin	Referring Physician
ACI Mapping 01	ANONYMOUS_20201103T110428_ID	9/29/2020 11:53 AM	CLINICALPACS	ANONYMIZED	No		test1	
ACI Mapping02	ANONYMOUS_20201103T111817_ID	9/16/2020 8:31 AM		ANONYMIZED	No		test1	
ACI Mapping03	ANONYMOUS_20201103T112448_ID	9/11/2020 3:22 PM		ANONYMIZED	No		test1	

## スタディペインのインジケータ

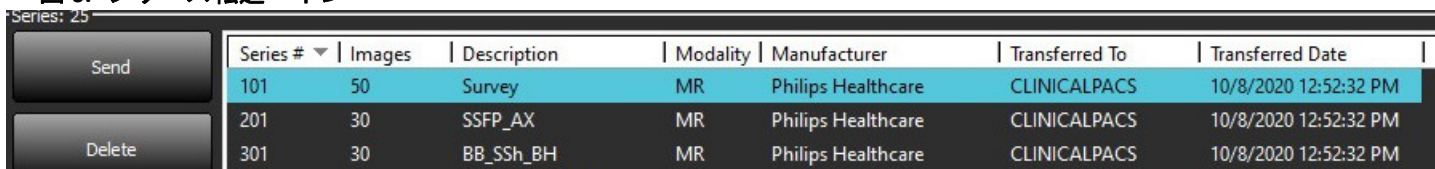
インジケータ	ステータス
水色の円	画像の転送は未完了、または画像は複数のリモートホストに転送済み。
緑色の円	スタディのすべての画像が単一のリモートホストに転送済み。

## リモートホストにシリーズを送信

1. スタディをハイライトします。
2. 必要なシリーズをハイライトします。
3. [Send (送信)] を選択するか、右クリックしてポップアップメニューから [Send (送信)] を選びます。
4. 送信先を選択します。
5. ポップアップウィンドウで [Send (送信)] を選択します。

転送に成功したシリーズは、シリーズペインの [Transferred To (転送済み)] 列にリモートホストが表示されます。

図 6. シリーズ転送ペイン

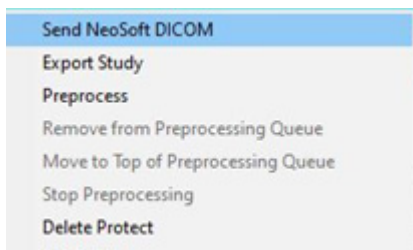


Series #	Images	Description	Modality	Manufacturer	Transferred To	Transferred Date
101	50	Survey	MR	Philips Healthcare	CLINICALPACS	10/8/2020 12:52:32 PM
201	30	SSFP_AX	MR	Philips Healthcare	CLINICALPACS	10/8/2020 12:52:32 PM
301	30	BB_SSh_BH	MR	Philips Healthcare	CLINICALPACS	10/8/2020 12:52:32 PM

## NeoSoft DICOM ファイルの送信

ソフトウェアによって作成されたファイルは別個にネットワーク送信されます。

1. スタディをハイライトします。
2. 右クリックして [Send NeoSoft DICOM (NeoSoft DICOM の送信)] を選択します。
3. DICOM の送信先を選択します。



## Auto Send (自動送信)

自動送信機能を有効にする場合は、NeoSoft, LLC に電子メール (service@neosoftmedical.com) でご連絡ください。

## スタディのインポート

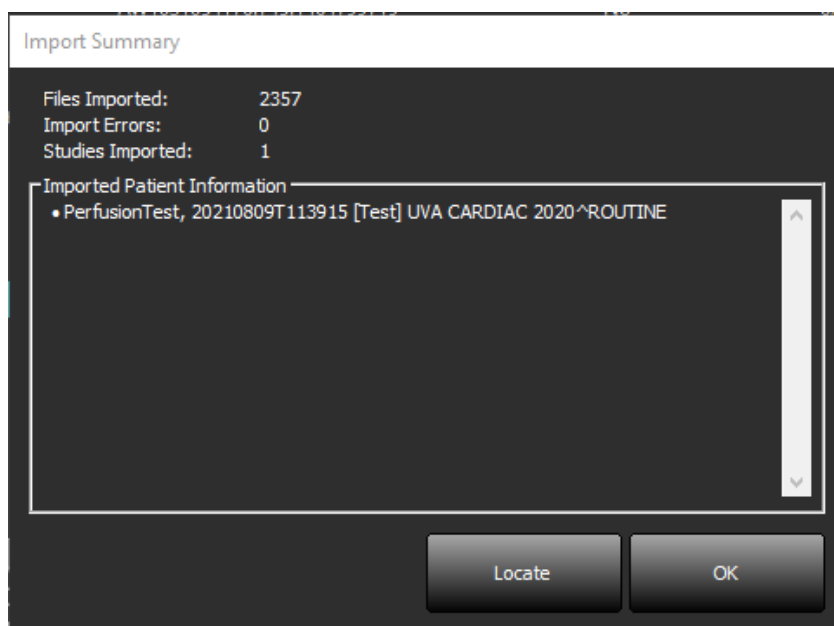
DICOM データを含むスタディはローカルファイルシステム、マッピングされたドライブ、CD、DVD、USB からインポートできます (圧縮されたフォルダも含まれます)。インポートしたい DICOM データが含まれているメディアを挿入した後、以下の手順に従ってください。

注：suiteDXT は JPEG ロスレス圧縮をサポートしますが、この形式のサブセットはサポートされていません。

1. メイン画面で [Import (インポート)] を選択します。
2. DICOM データが含まれている場所まで移動します。
3. [Select (選択)] をクリックします。

[Import File Progress (ファイルのインポート進捗状況)] ウィンドウに DICOM ファイルのインポートのステータスが表示されます。[Import Summary (インポートの要約)] に検出されたファイルの合計数、インポートされたファイル、スタディカウント、スタディのインポート済み情報が表示されます。

新しくインポートされたスタディが suiteDXT のメイン画面のスタディリストに追加されます。フォルダが選択された場合、スタディはフォルダにインポートされます。



提供されたデータの例を suiteDXT にインポートできます。

注：スタディのインポートが完了しない場合は、[Import Summary (インポートの要約)] 画面で [Retry (再試行)] をクリックしてください。

# スタディのエクスポート

解析済みのスタディは、メインスタディディレクトリから .zip ファイルとしてエクスポートできます。

1. メイン画面の [Configuration (構成)] をクリックしてファイル名をカスタマイズします。
2. [Export Filename Pattern (ファイル名パターンのエクスポート)] セクションで、図 7 で示されるように、必要なファイル属性を選択します。
3. [Apply and Close (適用して閉じる)] をクリックします。
4. スタディをハイライトするか、Ctrl+Shift を使用してスタディのグループを選択します。
5. 右クリックして [Export (エクスポート)] を選択します。
6. 適切なエクスポート先を選択します。
7. [Save (保存)] を選択します。


図 7. エクスポートするファイル名のパターン

Export Filename Pattern					
Patient Name_Export Timestamp		Patient Name	Patient ID	Study Description	
Accession	Study Date	Study ID	Export Timestamp	Institution	Referring Physician

## 検索の実行

並べ替えの有無に関わらず、各列を自動的に検索できます。検索では大文字と小文字を区別せず、結果が自動的にリストの最上部に表示されます。

Patient Name	Patient ID	Date/Time	Transferred To	Study ID	Delete Protected	Accession	Origin
SH Case 10	AW2091044406.251.1412004870	6/22/2011 4:29 PM		18765	No		tritonrc
SH Case 14, 20140929T165736	ANONYMOUS_20140929T165736_ID	8/10/2007 10:05 AM		ANONYMIZED	No		tritonrc

- 最初の結果を取得した後、キーボードで ENTER キーを押すか、検索フィールドで矢印を押すと、次の結果に進めます。
- キーボードで ENTER と SHIFT キーを同時に押すと、前の結果が選択されます。
- 結果の最後まで到達した際にキーボードで SHIFT を押すかどうかに関わらず ENTER を押すと、検索結果の最初に戻ります。
-  を押すと、検索結果がクリアされます。

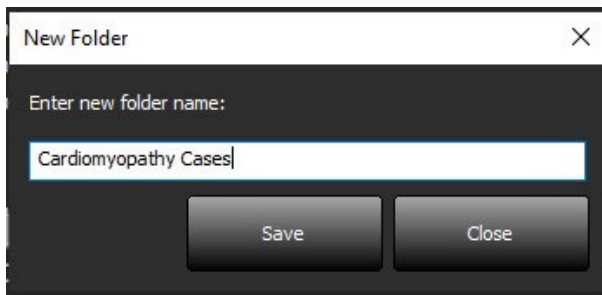
注：検索でフォルダをスタディリストに含めるには、フォルダを展開する必要があります。フォルダを右クリックして [Expand All (すべて展開)] を選択します。

## フォルダの作成

スタディリストレベルでスタディを整理するためにフォルダを作成できます。それらは、スタディリストの上部でグループ化されます。

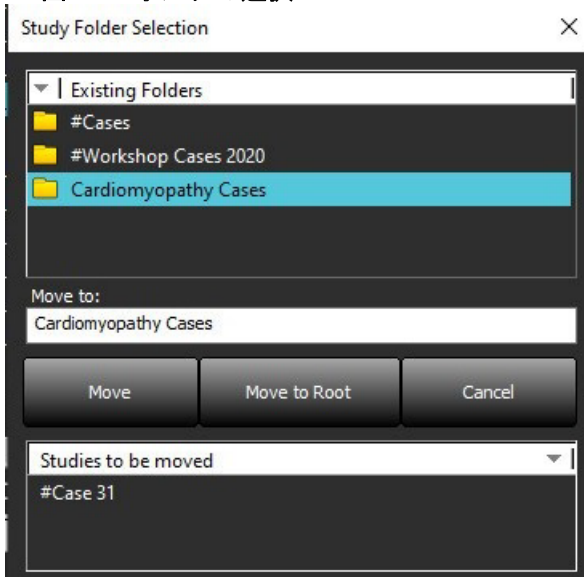
1. [New Folder (新しいフォルダ)] をクリックします。
2. フォルダ名を入力して、[Save (保存)] をクリックします。

これでフォルダがスタディリストに表示されます。



3. スタディを右クリックして [Move to Folder (フォルダに移動)] を選択し、スタディをフォルダに移します。
4. フォルダのダイアログボックスが開いたら、スタディの移動先の正しいフォルダを選択します。

図 8. フォルダの選択



5. スタディをクリックして [Move to Folder (フォルダに移動)] を選択し、スタディをメインディレクトリに戻します。
6. [Move to Root (ルートに移動)] をクリックします。

# スタディの匿名化



注意: スタディを匿名化しても、他の後処理ソフトウェアで作成された画像の患者データは削除されません。



注意: 匿名化されたスタディは、NeoSoft, LLC のアプリケーションのみで使用してください。

1. メイン画面で、単一のスタディまたはスタディグループを選択します。  
注: スタディグループが選択されている場合、患者 ID はスタディごとに増加します。
2. [Anonymize (匿名化)] を選択します。
3. 必要に応じて、図 9 に示すように匿名化フィールドに入力します。
4. 匿名化された Key CSV ファイルの場所には、参照用に元のスタディ名で Excel スプレッドシートが作成されます。
5. NeoSoft セカンダリキャプチャシリーズを含めない場合は、オプションの選択を解除します。
6. [Anonymize (匿名化)] をクリックします。

図 9. 匿名化スタディ

Anonymize Study

Anonymized Patient Name:  Append Date/Time

Anonymized Patient ID:

Anonymized Institution:

Anonymized Accession:

Anonymized Study Description: Disabled

Anonymized Key CSV File Location: C:\Users\ccomeau\Desktop\

Anonymized Study Date: 8/21/2024

Include NeoSoft Secondary Capture Series

Anonymize

進捗状況インジケータが表示されます。新しく匿名化されたスタディがスタディリストに表示されます。

7. [Anonymize Study (スタディの匿名化)] ポップアップで [OK] をクリックします。

注: 匿名化機能は、NeoSoft のサポート目的でご利用いただけます。



## 削除保護

スタディの削除保護を設定するには、スタディを右クリックして [Delete Protect (削除保護)] を選択します。インジケータ列に、保護されているスタディの場合は [Yes (はい)]、保護されていないスタディの場合は [No (いいえ)] と表示されます (図 10)。削除保護をオフにするには、右クリックして [Remove Delete Protection (削除保護を解除)] を選択してください。

図 10. 削除保護列のインジケータ

Patient Name	Patient ID	Date/Time	Transferred To	Delete Protected	Study ID
SH Case 21	AW712995506.906.1442511336	9/12/2013 10:55 AM		Yes	3721
SH Case 22	AW1908138422.466.1442956310	12/16/2013 10:28 AM		Yes	MCARD
SH Case 23, 20150819T112311	ANONYMOUS_20150819T112311_ID	1/13/2014 12:00 AM	test1	No	ANONYMIZED
SH Case 24, 20151028T104222	ANONYMOUS_20151028T104222_ID	12/6/2014 11:28 AM		No	ANONYMIZED

## スタディの削除



注意: ファイルシステムからデータを削除すると (現在開いているスタディのファイルも含まれます)、解析/画像データが失われる可能性があります。

メイン画面で、削除したいスタディを選択し、[Delete (削除)] を選択するか、右クリックしてポップアップメニューから [Delete (削除)] を選択します。「SHIFT + クリック」または「Ctrl + クリック」を使用すると、リストから削除したいスタディを複数選択できます。

## シリーズの削除

メイン画面でスタディを選択してからシリーズを選び、[Delete (削除)] を選択します。「SHIFT + クリック」または「Ctrl + クリック」を使用すると、リストから複数のシリーズを選択することができます。

注: シリーズの削除は、解析を始める前に行うようお勧めします。

## セカンダリキャプチャシリーズの削除

NeoSoft, LLC を製造元として認識しているセカンダリキャプチャシリーズは、削除できます。



注意: suiteHEART データシリーズを削除すると、あらゆる解析結果が削除されます。

1. スタディを選択し、suiteHEART DATA シリーズを見つけます。
2. シリーズ番号または + アイコンをクリックして [Series Details (シリーズの詳細)] ウィンドウを開きます。

図 11. シリーズの選択

Send	Series # ^	Images	Description	Start Time	Manufacturer	Transferred To	Transferred Date/Time	Modality
	3200	9	[Loc:-63.99] + C SMARTIMap FIESTA	10:50 AM	GE MEDICAL SYSTEMS			MR
	3210	9	[Loc:-77.54] + C SMARTIMap FIESTA	10:50 AM	GE MEDICAL SYSTEMS			MR
Delete	3220	9	[Loc:-91.09] + C SMARTIMap FIESTA	10:50 AM	GE MEDICAL SYSTEMS			MR
	3500	14	MAG:2D PSMDE	10:55 AM	GE MEDICAL SYSTEMS			MR
Show Preview	3600	3	MAG:2D PSMDE	11:02 AM	GE MEDICAL SYSTEMS			MR
	3700	3	MAG:2D PSMDE	11:03 AM	GE MEDICAL SYSTEMS			MR
	3701	1	CAS_SCPT_SERIES AUTO_T1_MOLLI_1		NeoSoft LLC			MR
	3702	1	CAS_SCPT_SERIES AUTO_T1_SMART_1		NeoSoft LLC			MR
	3703	1	CAS_SCPT_SERIES AUTO_T1_SMART_2		NeoSoft LLC			MR
	+ 3713	2	suiteHEART DATA		NeoSoft LLC			MR
	3716	20	SAX Fiesta		NeoSoft LLC			MR
	3717	1	PSMDE		NeoSoft LLC			MR

3. 適切な行を選択して、[Delete (削除)] をクリックします。閉じるには、X (ウィンドウの右上隅) をクリックするか、[Close (閉じる)] をクリックしてください。

図 12. シリーズの詳細

Series Details X

Description:[suiteHEART DATA] Number:[3713] Modality:[MR] Manufacturer:[NeoSoft LLC]

SOP Instance UID	Date/Time	Number ^
1.2.826.0.1.3680043.9.1400.2.1653576577.400	5/26/2022 9:49 AM	1
1.2.826.0.1.3680043.9.1400.5.1653576676.605	5/26/2022 9:51 AM	2

Delete Close

## 自動削除

自動削除機能を有効にするには、NeoSoft, LLC に電子メール (service@neosoftmedical.com) でご連絡ください。

## suiteDXT の概要

メイン画面で [About (概要)] を選択すると、suiteDXT のソフトウェアバージョンが表示されます。

左下のリンクをクリックすると、文書にアクセスできます。

注：これらの文書を開くには、PDF リーダーが必要です。

注： [Archive log files for Support (サポート用ログファイルのアーカイブ)] をクリックすると、サービス部門がトラブルシューティングで使用するファイルを作成できます。

図 13. 概要画面



# スタディの前処理

スタディの前処理機能は、suiteHEART® ソフトウェアアプリケーションでのみ利用できます。以下に、サポートされるアプリケーションを示します。前処理は、Virtual Fellow® 機能と組み合わせて使用できます。

注：ハードウェアが最低システム要件を満たさない場合、前処理は無効になります。

## 前処理の構成

1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。
2. プルダウンメニューから MRI スキャナーベンダーのタイプを選択します。
3. [Auto-Detect (自動検出)] タブで、前処理に必要なアプリケーションを選択します。

注：シリーズ名を定義すると、自動検出を無効にすることができます。以下の「シリーズの説明を定義する」を参照してください。

4. 各アプリケーションのタブを確認し、必要なオプションを選択します。

注：GE スキャナーの場合、T1 および T2 マッピングアプリケーション用に [Time Series (時系列)] を選択します。

5. ベンダータイプごとに、上記の手順を繰り返します。

[Virtual Fellow® (Enable Virtual Fellow® を有効にする)]、[Auto Update (自動更新)]、[Export To XLS (XLS へのエクスポート)] の選択は、すべてのベンダータイプに適用されます。

注：[Auto Update (自動更新)] では、バックグラウンドでの処理されているスタディの起動が有効になります。

注：[Export To XLS (XLS へのエクスポート)] は、前処理後の分析結果を含む Excel スプレッドシートをエクスポートするために使用されます。ファイルの場所：C:\ProgramData\NeoSoft\suiteHEART\Excel

6. [Apply and Close (適用して閉じる)] をクリックします。

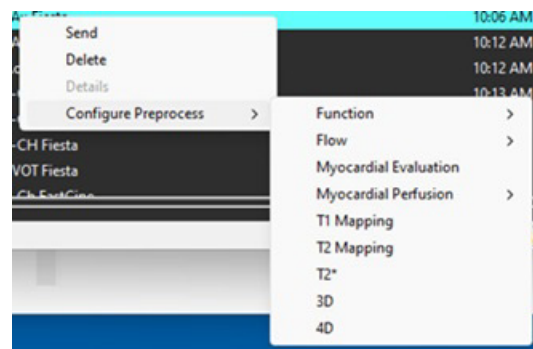


## シリーズの説明を定義する

1. メイン画面でスタディペインからスタディを選択します。
2. シリーズペインからシリーズを選択します。
3. シリーズ名を右クリックし、そのシリーズに適した解析タイプを選択します。

シリーズ名は、[Preprocessing (前処理)] セクションに自動的に入力されます。

4. 他のすべてのシリーズタイプでも繰り返します。



## 前処理の使用

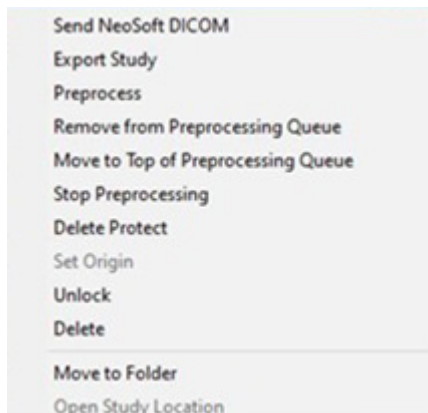
前処理は、別の DICOM ノードから suiteDXT に直接送信/プッシュされている心臓 MRI スタディで実行できます。

注：自動更新が有効である場合、バックグラウンドで処理の実行中にもスタディを起動することができます。

前処理は以下の手順で開始することができます。

### スタディペイン

1. スタディペインから患者を選択します。
2. メニューで [Preprocess (前処理)] を右クリックして選択します。



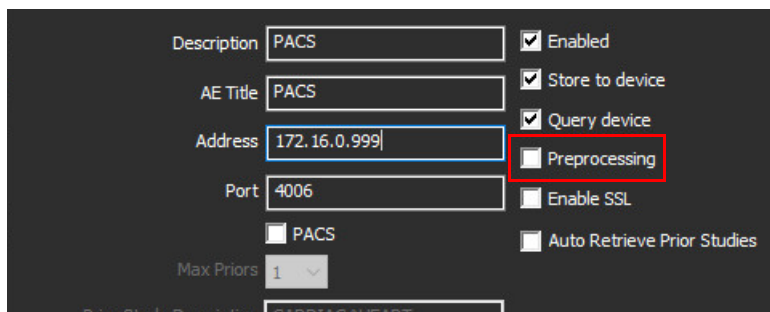
### 問合せ/検索ウィンドウ

「はじめに」と「suiteDXT の使用」の問合せ/検索セクションを参照してください。

### suiteDXT に送信される DICOM ノード

デフォルトの動作では、suiteDXT に送信されるすべてのスタディが前処理されます。特定の DICOM 宛先を更新するには：

1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。
2. [DICOM Destination (DICOM 宛先)] セクションで、[DICOM node (DICOM ノード)] を選択し、[Edit (編集)] をクリックします。
3. [Preprocessing (前処理)] にチェックを入れます。
4. [Update (更新)] をクリックします。
5. [Apply and Close (適用して閉じる)] をクリックします。



## スタディペインのインジケータ

インジケータ	ステータス
水色の円	スタディは前処理中です。(前処理を停止するには、右クリックします。)
紺色の円	スタディはキューに入っています。(前処理キューから削除する、または前処理キューの先頭に移動するには、スタディを右クリックします。)
緑色の円	前処理は完了しました。スタディが開かれるまでインジケータはそのままになります。
赤色の円	前処理に失敗しました。NeoSoft 宛てにメール (service@neosoftmedical.com) で連絡してください。

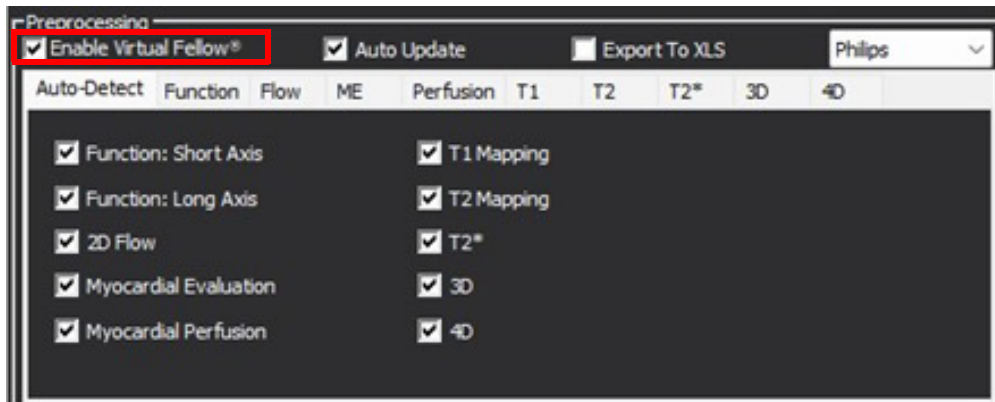
Find	Patient Name	Patient ID	Date/Time	Transferred To	Delete Protected	Study ID	Access
	SH Case 31, 20161027T111015	ANONYMOUS_20161027T111015_ID	4/5/2016 2:46 PM		No	ANONYMIZED	
Send	SH Case 33, 20171006T105644	ANONYMOUS_20171006T105644_ID	7/6/2017 10:15 AM		No	ANONYMIZED	
	SH Case 37, 20190518T140428	ANONYMOUS_20190518T140428_ID	6/10/2016 11:52 AM		No	ANONYMIZED	
Import	SH Case 38	ANONYMOUS_20210126T143814_ID	8/11/2020 8:36 AM		No	ANONYMIZED	
	SH Case 39	ANONYMOUS_20210203T144800_ID	6/21/2017 1:34 PM		No	ANONYMIZED	
	SH Case 40	ANONYMOUS_20210203T144800_ID	1/28/2021 12:40 PM		No	ANONYMIZED	

# Virtual Fellow®

## Virtual Fellow® のオン/オフ

1. suiteDXT のメイン画面で [Configuration (構成)] をクリックします。
2. 前処理セクションで、[Enable Virtual Fellow® (Virtual Fellow® を有効にする)] をチェックして画像を最適化します。
3. [Apply and Close (適用して閉じる)] をクリックします。

図 1. 構成の前処理





# 画像プレビューウィンドウ



警告: 画像は診断や治療には適していません。

suiteDXT のメイン画面で、プレビューウィンドウの表示/非表示を切り替えられます。

注: 選択したスタディに suiteHEART Virtual Fellow®、CAS シネ、CAS レポートシリーズが含まれている場合、これらのシリーズは自動的にプレビューウィンドウに表示されます (図 2)。

注: Ctrl+T を使って注釈を切り替えます。

図 2.

The screenshot shows the suiteDXT application interface. On the left, there is a sidebar with buttons for 'Find', 'Send', 'Import', 'Anonymize', 'Delete', 'New Folder', and 'Data Export'. The 'Send' button is highlighted with a red box. The main window is divided into two panes. The top pane displays a table of studies with columns for Patient Name, Patient ID, and Study Description. The bottom pane displays a list of series with columns for Series #, Images, Description, Start Time, and Manufacturer. The 'Send' button in the sidebar is highlighted with a red box. The preview window on the right shows a grid of cardiac MRI images with a blue text overlay 'プレビューウィンドウ' (Preview Window) and 'シネコントロール' (Cine Control). A disclaimer at the top of the preview window reads: 'DISCLAIMER: Images are not suitable for diagnosis and/or treatment.'

Patient Name	Patient ID	Study Description
SH Case 35, 20171018T135959	ANONYMOUS_20171018T135959_ID	MR CARDIAC WWVO 75561
SH Case 36, 20171019T113816	ANONYMOUS_20171019T113816_ID	Cardiac
SH Case 39	ANONYMOUS_20210203T144600_ID	Cardiac
SH Case 40	ANONYMOUS_20210203T144948_ID	Valve Study
SH Case 41	ANONYMOUS_20210203T145136_ID	Cardiac
SH Case 42	ANONYMOUS_20210203T155609_ID	Cardiac
SH Case 44	ANONYMOUS_20210218T162712_ID	MRI CARDIAC FUNCTION WO CONTRAST
SH Case 45	ANONYMOUS_20210218T162953_ID	MRI CARDIAC FUNCTION WO CONTRAST
SH Case 46	ANONYMOUS_20210218T163659_ID	MR CARDIAC FUNCTION / MORPHOLOGY W
SH Case 47	ANONYMOUS_20210218T163934_ID	MRI CARDIAC FUNCTION STRESS WO CONT
SH Case 48	ANONYMOUS_20210218T164005_ID	MR HEART WITHOUT CONTRAST
SH Case 49	ANONYMOUS_20210218T171438_ID	
SH Case 50	ANONYMOUS_20210218T171624_ID	
SH Case 52, 20231004T145110	ANONYMOUS_20231004T145110_ID	ANONYMIZED
SH Dys 01, 20150918T105147	ANONYMOUS_20150918T105147_ID	CardiacFx
SH Dys 02, 20150918T165902	ANONYMOUS_20150918T165902_ID	MRFP SP
SH Dys 03, 20150923T132828	ANONYMOUS_20150923T132828_ID	Cardiac
SH Dys 04, 20150923T133058	ANONYMOUS_20150923T133058_ID	CardiacFx MDE
SH Dys 05, 20150923T133320	ANONYMOUS_20150923T133320_ID	CardiacFx MDE
suiteHEART Example Case	ANONYMOUS_20180212T162100_ID	Cardiac
suiteHEART Example Case 4D Flow	ANONYMOUS_20191124T113033_ID	Cardiac
T1 Mapping Case01_20150812T15	ANONYMOUS_20150812T154133_ID	Cardiac

Series #	Images	Description	Start Ti...	Manufacturer
3130	9	[Loc--57.04] PRE SMART1Map FIESTA	11:42 A...	GE MEDICAL SYSTEMS
3140	9	[Loc--65.48] PRE SMART1Map FIESTA	11:42 A...	GE MEDICAL SYSTEMS
3400	11	MAG2D PSMDE	11:47 A...	GE MEDICAL SYSTEMS
3401	1	CAS_SCPT_SERIES_AUTO_T1_SMART_1		NeoSoft LLC
3402	1	CAS_SCPT_SERIES_AUTO_T1_SMART_2		NeoSoft LLC
3412	2	suiteHEART DATA		NeoSoft LLC
3415	1	CAS_SCPT_SERIES_AUTO_FUNCTION_LAX		NeoSoft LLC
3416	20	SAx Fiesta		NeoSoft LLC
3417	1	DS-2D-DS-MDE		NeoSoft LLC

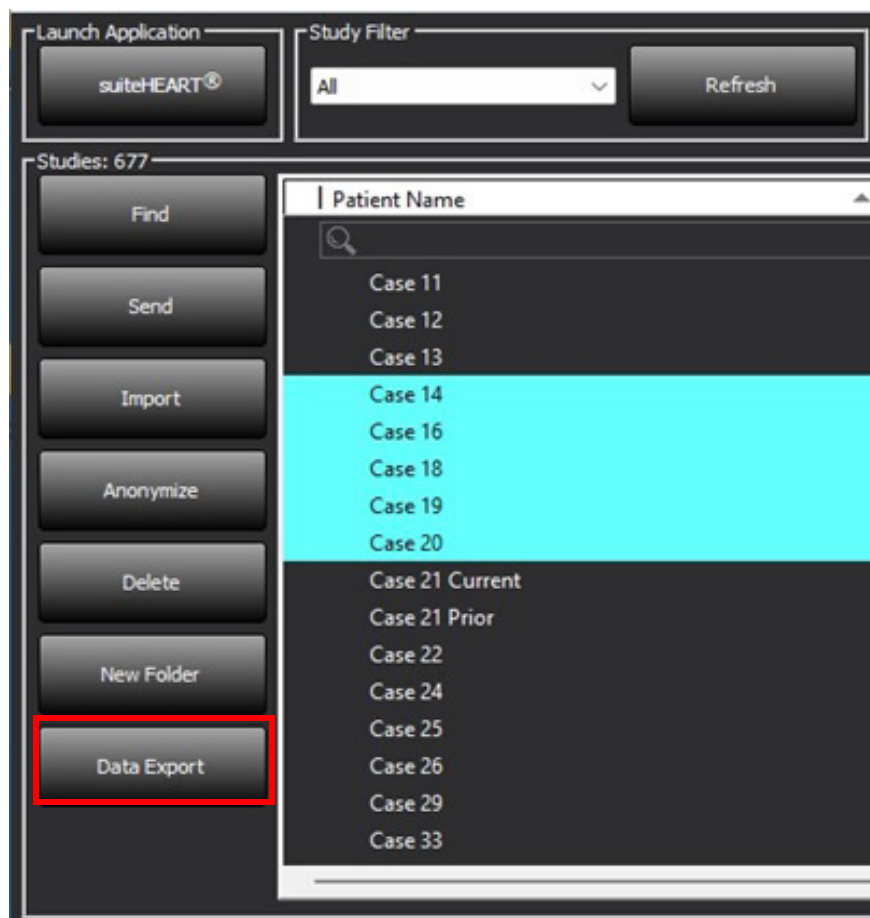


# データエクスポート

**重要:** ユーザーは、あらゆる関心領域 (ROI) の正確かつ完全な配置 (および適正な割り当て) に関する責任を負っています。この中には自動セグメント化アルゴリズムによって生成または修正されたものも含まれます。ソフトウェアで生成される定量値は、これらの関心領域の正確かつ完全な配置 (および適正な割り当て) に左右されます。

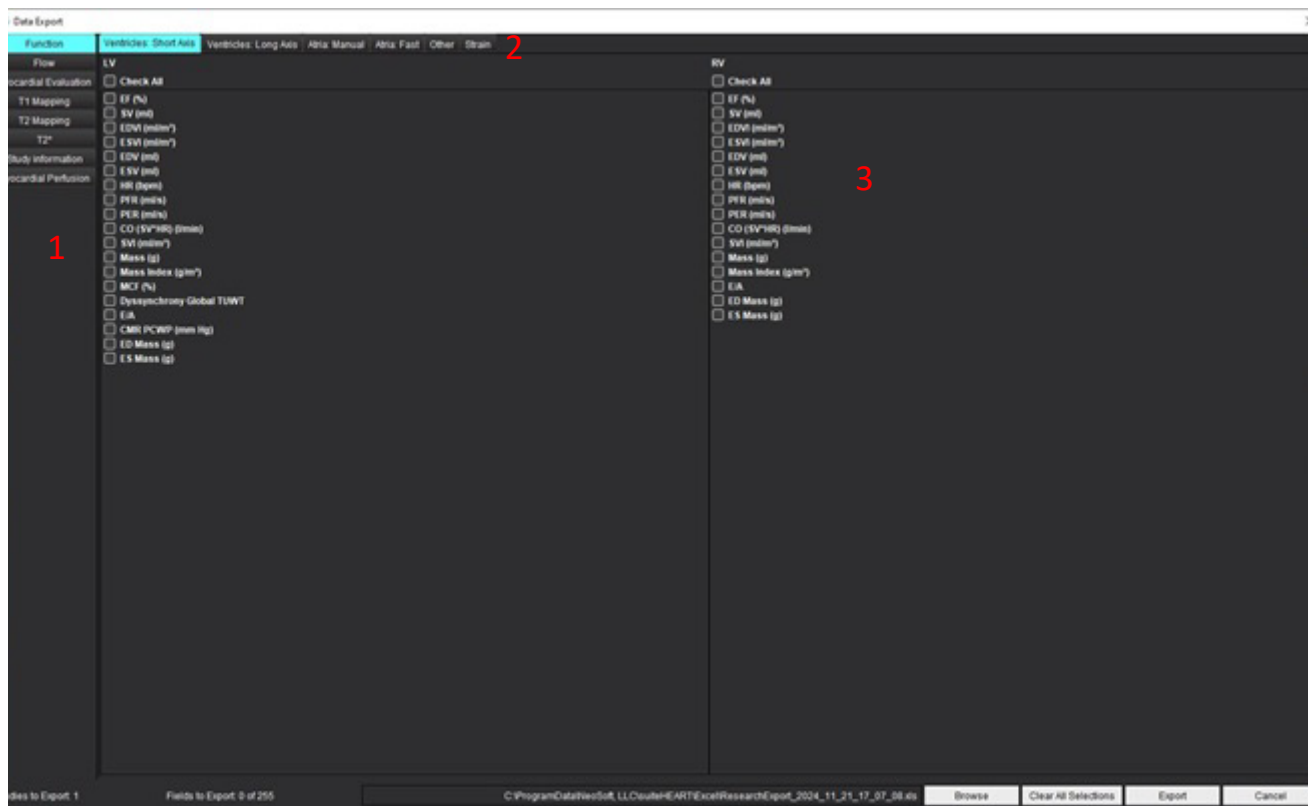
1. DXTスタディペインから、研究または研究のグループを選択します。
2. データエクスポートを選択します。

図 1. suiteDXTインターフェイスからのデータエクスポート



3. データエクスポートインターフェイスから、希望する適切な分析タイプの結果値を選択します。選択した項目は、次回のエクスポートのために保持されます。

図 2. データエクスポート



1. 解析モード
2. 解析タイプ
3. 結果値選択

注：255フィールドまでエクスポートが可能です。

4. **Browse**を選択し、移動先とファイル名を選択します。
5. **Clear All Selections**を選択して、結果選択をリセットします。
6. **Export**を選択して、エクセルシートを生成します。
7. **Cancel**を選択してインターフェイスを終了します。

# サービスとサポート

## DICOM ネットワーク機能不全

検索でスタディを転送できない場合は、ファイアウォールが転送を妨げていないか確認してください。ファイアウォールに問題がない場合は、suiteDXT がリモートホストで DICOM エコーを実行でき、リモートホストが suiteDXT で DICOM エコーを実行できるかチェックします。

1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。
2. [DICOM Configuration (DICOM 構成)] セクションで、検索を試みたリモートホストを選択し、[Edit (編集)] を選択します。
3. 以下のチェックボックスを選択します: [Enable (有効)], [Store to device (デバイスに格納)], [Query device (デバイスの問合せ)]。
4. DICOM 転送先の IP アドレス、ポート、AE タイトルが正しいことを確認します。

図 1. DICOM 構成ウィンドウ

DICOM Device Configuration

Description: PACS

AE Title: PACS

Address: 172.16.0.999

Port: 4006

Max Priors: 1

Prior Study Description: CARDIAC^HEART

Enabled

Store to device

Query device

Preprocessing

Enable SSL

Auto Retrieve Prior Studies

DICOM Echo Update Cancel

5. [DICOM Echo (DICOM エコー)] をクリックします。
6. ネットワークの設定をチェックし、選択したポートが開いており、suiteDXT ホストでアクセスできることを確認します。
7. スタディを再び検索します。

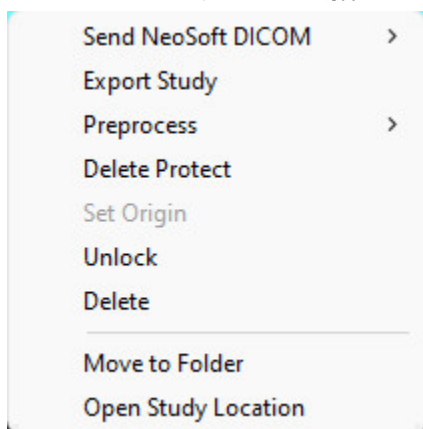
上記の手順を行っても再び検索に失敗する場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

## スタディ起動エラー

スタディを起動しようとした際に [The following studies are locked and will not be loaded in the launch (以下のスタディはロックされており、起動で読み込むことはできません)] というメッセージが表示されたら、以下を行ってください。

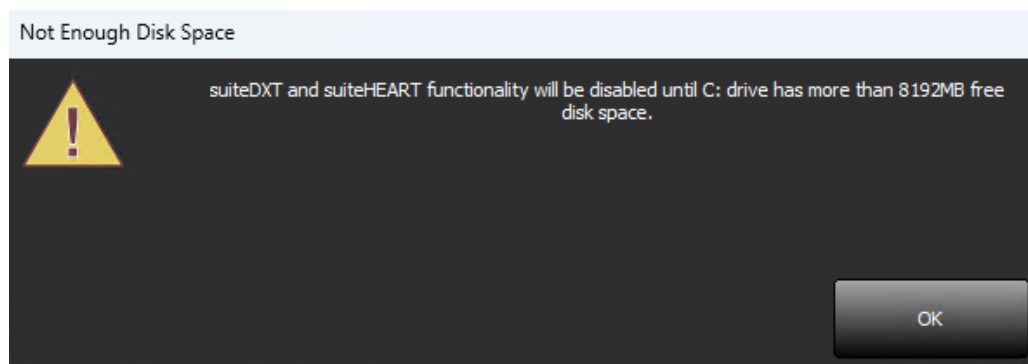
1. suiteDXT スタディディレクトリに移動します。
2. エラーメッセージが出たスタディを右クリックします。
3. [Unlock (ロック解除)] を選択します。

図 2. スタディのロック解除



## ディスクの空き容量が低下した場合の動作

ディスクの空き容量が少なくなると、以下のメッセージが表示されます。ディスク容量がしきい値に達すると、ソフトウェアの機能は無効になります。スタディが保存されているドライブのディスク容量のしきい値は 8 GB、プログラムデータディレクトリを含むドライブは 250 MB です。

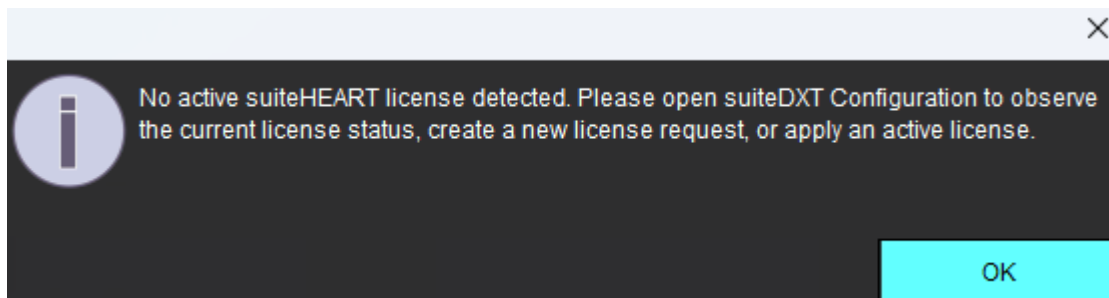


suiteDXT と suiteHEART のソフトウェア機能を回復するには、ディスク容量不足の問題を解決する必要があります。suiteDXT スタディリスト内のスタディがアクティブに使用されなくなった場合は、スタディを PACS システムに送り返して永久保存し、PACS システム上のスタディと NeoSoft セカンダリキャプチャのアーカイブを確認してから、スタディを削除します。さらにディスク容量が必要な場合は、お近くの IT 管理者に問い合わせサポートを受けてください。

ディスクの空き容量不足の問題が続く場合は、自動削除機能を設定できます。NeoSoft, LLC に電子メール (service@neosoftmedical.com) でお問い合わせください。

# ライセンスエラー

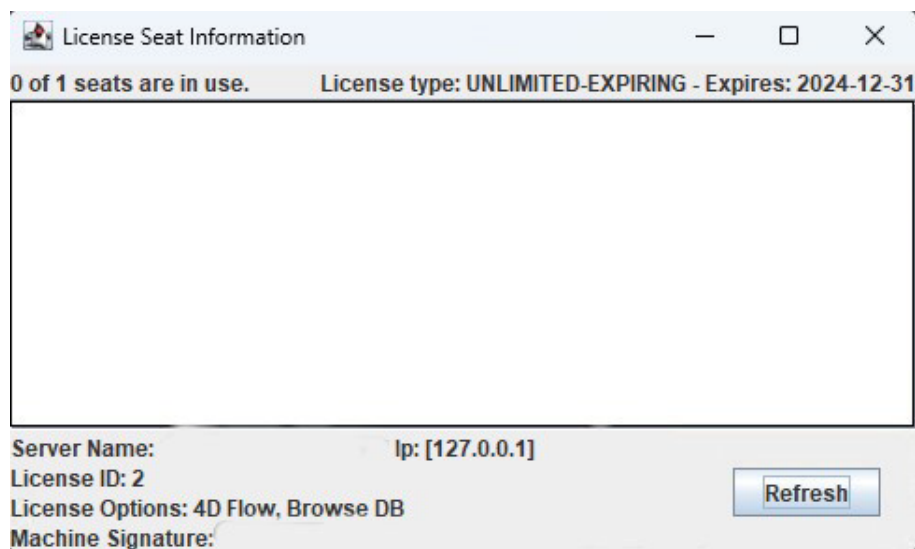
suiteHEART でスタディを起動する際、ライセンスエラーが発生すると以下のメッセージが表示されます。



現在のライセンス状況を確認するには、suiteDXT のメイン画面で [Configuration (構成)] をクリックし、下部にある [License Status (ライセンス状況)] をクリックします。



[License Seat Information (ライセンス登録情報)] ウィンドウが表示されます。



ライセンスに関するお問い合わせは、NeoSoft, LLC まで電子メール (service@neosoftmedical.com) でご連絡ください。

注： [License Seat Information (ライセンス登録情報)] ウィンドウのスクリーンキャプチャを電子メールに添付してください。

## お問い合わせ

suiteDXT のインストールまたは使用中に問題が発生した場合は、Soft, LLC サービスまでご連絡ください (service@neosoftmedical.com) でお問い合わせください。